

## お薬の飲み合わせに注意しましょう

### お薬の飲み合わせとは？

うなぎに梅干、カキ氷に天ぷらなど、食べ物には「食べ合わせ」というものがありますね。実は薬にも同じような「飲み合わせ」というものがあることがあり、健康に害があることがあります。例えばワルファリンカリウムという血液をサラサラにする薬と、メナテトレノンという骨を強くする薬を同時に飲むと、ワルファリンカリウムの効果が弱くなって血管が詰まりやすくなってしまいます。ワルファリンカリウムは、ビタミンKの作用を阻害することによりその作用を発揮するのですが、メナテトレノンはビタミンKの一種であるため、ワルファリンカリウムの作用を中和してしまうためです。

厄介なのは、メナテトレノンが血液を固まりやすくする薬としてではなく、骨を強くする薬として使用されているということです。これでは作用を見ただけでは、ワルファリンカリウムと、メナテトレノンの飲み合わせが悪いことは誰にもわかりません。

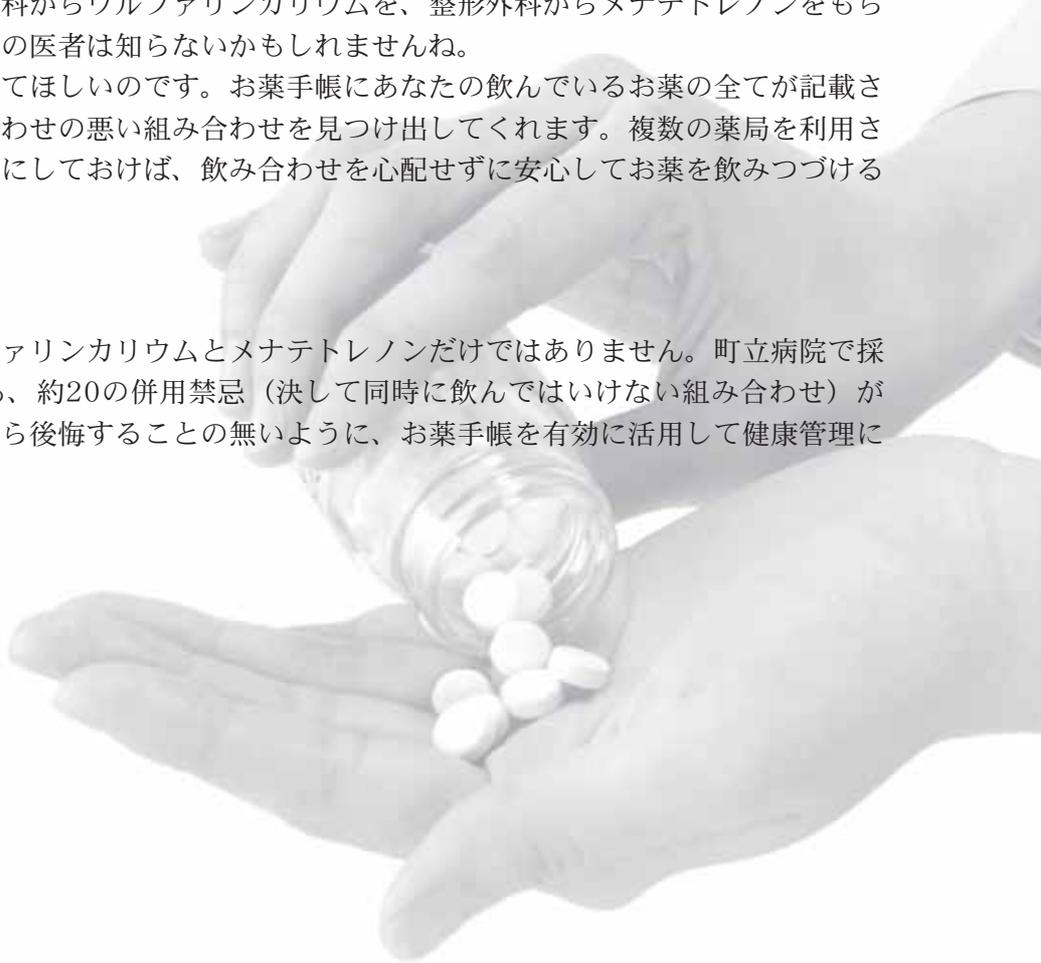
### お薬手帳を使いましょう

一人の医者が、ワルファリンカリウムとメナテトレノンを同時に処方することは決してありません。知識として知っているからです。しかしあなたが、内科と整形外科で別の病院にかかっていたらどうでしょう。あなたが内科からワルファリンカリウムを、整形外科からメナテトレノンを持っているという事実を、双方の医者は知らないかもしれませんね。

そこで、お薬手帳を活用してほしいのです。お薬手帳にあなたの飲んでお薬の全てが記載されていれば、薬剤師が飲み合わせの悪い組み合わせを見つけ出してくれます。複数の薬局を利用されていても、お薬手帳を一冊にしておけば、飲み合わせを心配せずに安心してお薬を飲みつづけることができるわけです。

### まとめ

お薬の飲み合わせはワルファリンカリウムとメナテトレノンだけではなくありません。町立病院で採用されている医薬品だけでも、約20の併用禁忌（決して同時に飲んではいけない組み合わせ）があります。飲んでしまったから後悔することの無いように、お薬手帳を有効に活用して健康管理に役立ててください。



# 国保ヘルスアップ事業

今年度の特定健診も終わりましたが、健診結果はいかがでしたか？どんな結果だったか覚えていますか？

和水町では健康寿命を伸ばすために、今年度から3年間国保ヘルスアップ事業に取り組みます。まずは、気になる健診結果の人などに、保健師・栄養士が家庭訪問等でお声掛けをしていきますので、どうぞよろしくお願ひします。



森



木原



佐藤



前田



古川



高田



中村



木庭

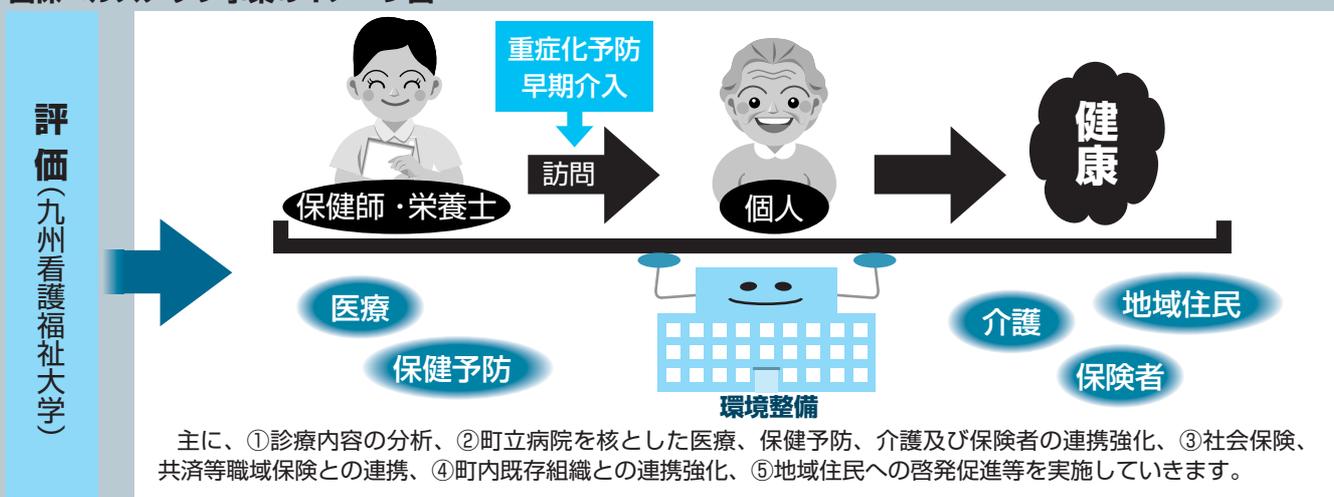


大山



樋口

## 国保ヘルスアップ事業のイメージ図



問い合わせ先 本庁 税務住民課 ☎0968・86・5723

# 日本脳炎の定期予防接種の仕組みが変わりました

第1期における3回の予防接種を受けていない人は受けることができます。

**(1) 第1期の予防接種のうち1回を受けた人**

生後6ヶ月以上90ヶ月以下の人、及び9歳以上12歳以下の方は、6日以上の間隔をおいて、残りの2回の接種を受けることができます。

**(2) 第1期の予防接種のうち2回を受けた人**

生後6ヶ月以上90ヶ月以下の人、及び9歳以上12歳以下の方は、残り1回を受けることができます。

**(3) 生後6ヶ月以上90ヶ月以下で第1期の予防接種を全く受けていない人**

9歳以上12歳以下の方は3回を受けることができます。

第1期の予防接種を全て受けられた人は、9歳以上12歳以下で第2期の予防接種を受けることができます。第2期では乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンを使用します。

問い合わせ先 本庁 健康福祉課 保健予防係 ☎0968・86・5724  
総合支所 健康福祉課 健康支援係 ☎0968・34・3111